

当院に入院された発症から 24 時間以内の脳卒中患者さんへのお知らせ  
「急性期脳卒中患者に対する 24 時間血糖モニタリング (CGM) 測定に関する研究」に関する  
情報開示

川崎医科大学附属病院  
脳卒中科 植村順一

脳梗塞および脳出血の患者さんでは来院時に血糖値が高いと、麻痺やコミュニケーション障害などの後遺症が強く残る患者さんが多いと報告されています。一方で、脳卒中入院後に糖尿病がなくても一過性に血糖値が上がったり、変動することが知られていますが、どのくらい患者さんの状態に影響するかは全く分かっていません。そこで我々は連続血糖モニター装置 (CGM) を使用して、脳卒中の急性期 (入院してから 3 日間) に血糖値の変動を観察する研究を 2011 年 8 月より当院倫理委員会の承認を得て実施しております。

この度、倫理委員会承認前の 2011 年 1 月から 8 月に当院に入院され、CGM を使用して血糖値を測定させていただいた患者さんの画像所見 (CT、MRI、エコー、カテーテル検査) の特徴や予後についても追加調査を実施することになりました。この研究を行なうことについて患者さんのご理解とご協力を賜りたく存じます。またこの研究で得られた内容を学会や科学雑誌で公表することにつきましてもご了承いただきたく存じます。患者さんの情報については個人名や個人を特定できるデータは伏せており、当院の個人情報保護規定に従って厳密に管理し、第三者が閲覧することはありません。また、この研究で患者さんは不利益を被ることはないと考えております。なおこの度の追加調査に関しては当院倫理委員会の承認を得ております。研究をするために必要な資金をスポンサー (製薬会社等) から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねないような状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するために、このような利益相反状態にはなりません。

担当： 川崎医科大学 脳卒中医学教室 講師 植村順一  
岡山県倉敷市松島 577 TEL : 086-462-1111  
FAX : 086-464-1128